

兵庫県保険医協会 神戸支部研究会

安心・安全な住環境が 生活を支える



日時 2009年12月12日(土)午後2時30分～

会場 兵庫県保険医協会会議室

講師 神戸学院大学総合リハビリテーション学部講師

一級建築士 糟谷 佐紀(カスヤ サキ)先生

すべての生活の基盤は住まいにある。健康なときも病気の時も、高齢者も障害者も安心して暮らせる住まいとは何か。住まいは、そこに暮らす人の生活や行動を支えるものである。居心地の悪い家、動きにくい家、危険が多く潜む家に暮らす人の活動は制限され、外出機会を奪ってしまう。日本の伝統的な家屋に潜む危険とその整備方法、また住まいを支える福祉用具の活用方法についても紹介する。

こうした住まい、生活を支える専門職、医師、看護師、療法士、社会福祉士、建築士が連携することが特に重要であることを再認識し、チームで取り組む住環境整備について、共に考える機会としたい。 【糟谷 記】

糟谷 佐紀(カスヤ サキ)先生・プロフィール

1995年 神戸大学大学院工学研究科環境計画学専攻終了

2006年 徳島大学大学院工学研究科博士後期課程修了 工学博士 一級建築士

【所属学会】

日本建築学会、日本リハビリテーション工学学会、他

【主な研究課題】

在宅生活支援における住環境整備の役割(介護保険、住宅改修、福祉用具)

重度障害者の外出支援(ユニバーサルデザイン、QOL)ユニバーサルサービスにおける人材育成

【著書】

団地再生 公団住宅に住み続ける(共著・2008年)

旅行を通して見えてきた障害者の外出に関する問題点と課題(学術雑誌・2009年)、他

お問い合わせは、078-393-1801 難波・田村まで

・FAX(078)393-1802へ(切り取らずに)ご返信ください

神戸支部「安心・安全な住環境が生活を支える」12/12(土)

研究会に()人参加します。

()区

医療機関名

参加者氏名

電話

兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

223号

2009年11月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸700生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会神戸支部 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

神戸支部第30回総会 記念講演感想文

医科・歯科連携で

「睡眠時無呼吸症候群」治療

謝 紹東先生(中央区)

神戸支部が10月17日に行った神戸支部第30回総会記念講演は、睡眠時無呼吸症候群をテーマに、神戸アドベンチスト病院副院長の森経春先生が「最近の知見と治療の実際」について、井尻歯科クリニック院長の井尻博和先生が「OA(マウスピース)の効果について」について講演した。

最近各種疾患との関連が認められている睡眠時無呼吸症候群(SAS)について講演を聴取させていただきました。

睡眠時無呼吸症候群が社会的に注目されたのは鉄道の運転士が運転中に居眠りしていたことでした。日中の居眠りの結果、いろいろな事故に結びつく可能性が指摘されていましたが、それ以上に注目されているのは多くの循環器疾患と関連があることです。

今回の講演では気道閉塞による睡眠時無呼吸症候群(OSAS)が早朝の高血圧や心不全、心筋梗塞に至る冠動脈疾患の発生に関連していること、脳卒中などの脳血管障害の発症が10年間で3倍以上になることが示されました。また一方中枢性の睡眠時無呼吸症候群(CSAS)も心不全と関連しているとのこと。血管炎症の存在が動脈硬化につながることはよく知られるようになっています。講演ではOSASに伴う間欠性の酸素濃度の上がり下がりが血管炎症に繋がることが示されました。CPAPを行うことがこの血管炎症を抑制する



質問に答える講師の森先生(右)と井尻先生(左)

ことも同時に示してくださり、動脈硬化の防止に、ぜひ必要な治療であることが示されました。

またSASには肥満が非常に関連していることがわかっていますが、CPAPを行うことで、体重が減らないにもかかわらず、内臓脂肪が減るとの研究結果が示されました。このことは患者のみならず私たち自身にとっても(当然小生も含めて)期待できる結果でした。

いままでの小生自身の経験上、睡眠時無呼吸症候群に対するCPAPは多くの症例において長時間、そして長期にわたり続けることがなかなか困難でしたが、少なくとも4時間行うことが良い結果に結びつく点を教えていただきました。今後の診療に結びつけようと思っています。

(2面へ続く)

(1面からの続き)

2 演題目には私自身は内科医としてあまり知ることがなかった、ただしぜひとも知る必要があったSASに対する歯科治療についてお聴きすることができました。

オーラルアプライアンス(OA)と呼ばれるマウスピースが示され、その効果が非常に分かりやすい図や実際のレントゲン写真で示されました。多くの症例について提示され、いびきについてOAは94%の効果があるということです。そしてSASのうちでも10秒以上の呼吸停止である無呼吸(AI)に対する効果が非常に高いということでした。

OAの特徴として身体にやさしいこと、携帯に便利であること、気持ち悪くないこと、比較的安価であること、一回処方を受けた

後は通院しなくていいことがあります、一方歯の欠損が多い方や歯槽膿漏がかなり進んでいる方、18歳未満の方にはOAを作ることが困難であると話されました。

OAの適用については睡眠時の無呼吸と低呼吸を合わせた数値(AHI)が20以下であること(ただしAHIが15以下の方は自費になるようです)、またAHIが20~30の中等度の方はOAあるいはCPAPの選択となり、AHI30以上の重傷の方はCPAPが第一選択であるということでした。

今後SASの患者さまをCPAPの施行有無にかかわらず、一度歯科へ紹介したうえで、治療について評価していただきたいと思えます。



講師の小谷先生

支部研究会

インスリン治療の症例を紹介

神戸支部は10月31日に保険医協会会議室で研究会「インスリンのトレードオフ」を開催。元神戸労災病院糖尿病内科部長兼検査科部長で、今年9月に灘区で「こたに糖尿病内科クリニック」を開業された小谷圭先生を講師に30人が参加した。

小谷先生は、症例を紹介しながら代表的なインスリン治療法を紹介し、外来でいかに運用するべきかを解説した。(感想文は次号掲載)

支部研究会

自分の声をつくろう

神戸支部は11月14日に保険医協会会議室で研究会「院内で元気力アップ～医療人のしゃべりコミュニケーション講座」を開催。フリーアナウンサーの田村正浩氏を講師に18人が参加した。田村氏は「人の声には個性があり、自分の声をつくるのが大事」とし、正しい声の出し方を解説した。

(感想文は次号掲載)



発声練習の成果で響く声が出せるようになった参加者ら

須磨区社保協 第6回総会

憲法25条を守らせよう



役員選出では代表幹事に加藤先生が再選された

神戸支部が加盟する須磨区社会保障推進協議会は、11月7日に北須磨文化センターで第6回総会を開催し、7団体から19人が参加した。役員選出では代表幹事に加藤擁一神戸支部幹事が再選された。

記念講演は、「朝日訴訟から学ぶ生存権」をテーマに、神戸市協議会議長の森口眞良氏が講演した。

講師は、「朝日訴訟は、人間が人間らしさを回復する闘いであった。貧困は

政治災害である」と訴え、憲法25条の具体化を民主党に迫っていくことが必要だと呼びかけた。

須磨区社保協では今後も引続き、住民の切実な要求実現を目指して、学習会・相談会開催や街頭宣伝・署名活動に取り組む。

開業医の手作り

健康情報テレホンサービス

【12月テーマ】

- 月曜日 ドライアイって何?
- 火曜日 「保険でより良い歯科医療を」連絡会とは
- 水曜日 甲状腺の病気
- 木曜日 男性の性行為感染症
- 金土日 休日に病気になったとき

フリーダイヤル
0120-979-451

一まずは、かかりつけ医に連絡を

<年末年始> AED(自動体外式除細動器)とは?

保険医協会の新しい共済制度 2010年1月1日発足
11月1日～受付開始

所得補償保険 協会の「休業保障制度」にご加入いただけない先生方にお勧めします。

- ・うつ病などの精神障害、認知症による就業不能も補償
- ・入院による就業不能は1日目から補償
- ・自宅療養(5日目から補償)、代診をおいてもお支払い
- ・再発の場合も含めて通算1000日まで補償
- ・地震などの天災によるケガも補償
- ・協会「休業保障制度」の給付に関係なくお支払い



医師賠償責任保険 他の医師賠償責任保険にご加入でない先生方にお勧めします。

- ・医療事故、医療施設の事故を補償
- ※医師会A会員、歯科医師会一般会員の方はご加入いただけません。